

みどりの風

CONTENTS

新年のご挨拶 今年は戌年 🐾年男・年女

第22回 消火競技大会／南の星座／合同忘年会／新入職員紹介
『骨密度測定装置』が新しくなりました!／みなみかぜ便り

2018年初日の出
(南大隅町佐多竹之浦から)

病院理念

地域住民の健康管理のために
地域医療の質と医療人の質の
たゆまぬ向上を目指す。

基本方針

- 一、医療・保健・介護・福祉・行政機関相互の連携を図り、地域住民に信頼される病院を目指します。
- 一、職員一人ひとりが経営意識を持って、安心・安全な医療を提供し、経営改善に努めます。
- 一、医療人としての責任と使命を自覚し、常に自己啓発に努めます。
- 一、多職種協働による、チーム医療と組織横断的活動を推進します。

患者さまの権利

- 1.患者さまは、一人の人間として尊重され、平等に安全で適切な医療を受ける権利があります。
- 2.患者さまは、十分な説明と情報提供を受けたいと、治療方法などをご自身の意思で選択する権利があります。
- 3.患者さまは、個人情報の秘密が守られ、プライバシーが保護される権利があります。
- 4.患者さまは、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さまの責務

- 1.患者さまは、ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療提供者へ伝える責務があります。
- 2.患者さまは、医療関係者と合意した検査や治療方針に対し、意欲を持って取り組む責務があります。
- 3.患者さまは、他の患者さまが快適な環境で医療を受けられるよう、病院や社会生活上のルールやマナーを守る責務があります。
- 4.患者さまは、検査や治療のために必要な医療費を負担する責務があります。

新年のご挨拶



世代交代と継続

肝属郡医師会立病院
院長

濱畑 和人



明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年を
迎えられたこととお慶び申し上げます。

肝属郡医師会立病院は昭和56年2月に開院し、地域医療の要となるべく事業展開しています。今年で37年目に入りますが、近年では地域の人口減による患者数の減少や加療対象としての疾病構造の変化により、基本的に病院収入の減少傾向及び、医師や看護師など他のスタッフの確保困難があり、地域で十分に思うような診療体制を組むことが困難になってきております。それに加えて建物が古くなり、インフラ等劣化もかなり進み、毎年補修に高額の経費が予想されているところです。またそれぞれの単位当たりの広さや、水回り等の場所や数など、近年の建築物の使用感覚との隔たりもかなり大きくなっており、リフォームや建て替え等の対応が必要にもなってきております。

これまでは医師やその他のスタッフのソフト面での世代交代・事業継続を中心に対しておりましたが、現在ハード面での世代交代と継続にも直面しています。

平成28年度より、現在の建物を修理しながら利用する方法や、移転新築する方法及びその時の財源獲得をどうするかなどを検討するため、

病院建て替え問題に対する基本構想を策定しているところです。地域の医療福祉の継続に関する問題のため、新聞等で少し取り上げられましたが、錦江町・南大隅町にも検討して頂いています。結論を出し、前進するにはまだまだ多くの課題を解決しないといけません。当初は、2021年の新しい出発を目指しておりましたが、現状ではもう少し遅れそうです。今後なるべくスピードを持って取り組んでいきたいと思っております。また、先述の通り錦江町・南大隅町にも相談していることから、地域の皆様には今後お世話になるかと思っておりますので、その時はよろしく願いいたします。

また、平成27年より院外院長として3年目になっておりますが、なるべく早く常勤の院内院長をお願いできるように努力しているところです。何かと不便をおかけすることがあるかとは思いますが、引き続き宜しくお願いいたします。

最後になりますが、30年度は医療・介護同時改定の年であります。総じて経営的に緩くなることは無いと予想されます。良く研究して、ますますの医療・介護サービス提供ができるように職員一同頑張っており、現況を乗り越えてまいりたいと思っております。

今後ともよろしくご指導ご鞭撻をお願いいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

今年
は
戌年

年男・年女



12年に1度！戌年の職員にインタビューしました！

中央材料室 家長 友子

新年明けましておめでとうございます。

さて、還暦とは、60年生きて干支が生まれた年に戻る事、本卦帰(ほんげがえり)一種の生まれ直しです。

私の中の還暦は「赤いちゃんちゃんこ」を着せられる年でした。なぜ「赤いちゃんちゃんこ」？「赤」には魔除の意味があり、還暦は生まれ直しなので「赤ちゃんに戻る」という意味がありました。そしてそれは常に他人事であり、近所のおじちゃん、おばちゃんの事のはず！ひえ～っ!!どうでしょう??私、還暦です。だから最近、脳のからくりがおかしいんですね。覚えられないしー、忘れちゃうしー、頑張る気力はあるのにー、みんなの足を引っ張らないように頑張るっきゃないです。宜しく願います。

リハビリ 中野 瑠美

年女を迎えました。今年の大河ドラマは「西郷どん」ということで、鹿児島県が賑やかになることでしょう。西郷隆盛が愛犬を連れていたことは有名な話です。他にも桃太郎や花咲かじいさん等の昔話の中でも犬は昔から人間にとって身近な存在なのではないでしょうか。私生活では多忙な日々を追われ、日を追うごとに一年があっという間に過ぎていくというのを身に染みて感じるようになりました。最近はいつどこで何が起こるか分からないご時世だと感じています。亡き祖母が「今日も一日ありがとうございました」と感謝の言葉を言いながら寝床についていたことが今となっては理解出来ます。今という時を楽しみながら思い立ったが吉日というように一日一日を大事に過ごしていきたいと思えます。笑門来福。今年もよろしく願います。

リハビリ 上村瑞稀

このお話を頂き、初めて自分が年女だということを知りました。4月から社会人として働き始め、あっという間に年が明けようとしています。日々、学ぶことや気づくことが多く、先輩方に助けて頂いている毎日です。今年もSTとして2年目になる年です。今以上に患者様と向き合って、よりよいリハビリを提供できるように、多くの知識や技術を習得していきたいです。

みなみかぜ 浅井 道明

早いもので錦江町へ仕事に通うようになり、16年が経ちました。現在は、居宅介護支援事業所で、地域の方々の優しさに触れながら仕事をさせていただいています。時には、困難なケースもありますが、この地域の医療、介護の事業者、地域の方々の支援をいただくことができ、在宅での生活を支えることができています。今後も、多職種の方々の協力を頂きながら支援していける役を担っていかれたらと思っています。本年も宜しく願います。

透析室 高田 美穂子

新年あけましておめでとうございます。以前、原稿依頼する側の広報委員でしたが、今年も早速依頼される側になってしまいました。入社して早や、20数年、独身でびちびちだった私が今は3児の母となり、子供たちに身長もすっかり追い越され、ハグする方からハグされる方になってしまいました。透析室に来て3年半、日勤の生活のおかげか風邪もさほどひかなくなりました。

毎日、緊張の連続ですが、そんな中、患者様とのコミュニケーションに癒されることもあります。管理者としても学ぶ事があり、指導してくださる師長さん、支えてくれるスタッフに感謝しながら日々、業務に励んでいます。年も重ね、無理が利かなくなるかもしれないけれど、いつまでも気持ちは若々しさを保ち、皆様に迷惑をかけないように頑張りたいと思います。

医事課 有村 祐泉

あけましておめでとうございます。専門学校を卒業し入社してから、もうすぐ3年が経とうとしています。周りの友達には結婚・出産・子育てと、どんどん先を行かれていく感じがしますが、自分もそんな年になったんだなあと思うことが最近多くなりました。でも実際は、自分がそういう状況になっていることが想像できないので、まだまだこれからかな?と思ったりもしています(根拠もなにもないですが、笑)

毎日毎日、楽しいこと、嬉しいこと、辛いこと、苦しいこと、いろいろとありますが頑張っていればきっと報われると思うので、これからも自分なりに頑張って、しっかりと仕事やプライベートを充実させていければと思います。2018年の抱負は「自立をすること」です。そのためにまずは一人暮らしをすることを計画して実現させたいと思います。今年こそは口だけではなく行動することを目標に!実現までのいくつかの“大きな壁”がありますが、やれるだけ頑張ります。今年もどうぞよろしく願います。

医事課 山下 優美

前回の年女からあっという間のような、すごく長かったような、そんな12年間を過ごし、再び年女を無事迎えることができました。この12年間は初めての育児に悪戦苦闘し、子育て中心でしたが、4年前に肝属郡医師会立病院に入職し、より充実した日々を送らせて頂いています。未経験の職種ということもあり、仕事内容を理解することに毎日必死で、入社時全く余裕がなかったのですが、今では医事課の先輩方をはじめ周りの方々にご指導いただき、少しずつですが仕事もスムーズに取り組めるようになり、新しいことを学ぶことに楽しささえ覚えるようになりました。今年も平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定を控えています。今まで以上に知識を増やし、正確な請求業務を行えるよう日々学んでいきたいと思っています。本年もよろしく願います。

第22回 消火競技大会

平成29年11月10日(金)



緊張の中でも冷静に正確に!



練習の成果を発揮しました。



命を守るため!「がんばりました!」

平成29年11月10日(金) 当院代表として第22回消火競技大会に参加させていただきました。この大会は施設内に設置してある設備の取り扱い方法を習熟し、火災が発生したときに、適切な初期消火を行い、併せて人命の安全を確保することを目的として大隅肝属地区消防組合中央消防署訓練場にて実施されています。

競技は2種目あり消火器の部、屋内消火栓設備の部の2種目エントリー。2人1組で競技に参加するのですが、私たちがペアを組んで早4年…。過去2大会参加させていただいていますが、入賞できずに悔しい日々を過ごし今大会こそは!という意気込みで臨みました。

競技内容(要項)は、消火器、消火栓を使用し(消火器については水消火器)標的にめがけ放水したり、棒と毛布を用いて応急担架を使用し要救助者(ダミー人形)の搬送をしたりと自火報が鳴ってから初期消火、要救助者の搬送までの流れを正確性、タイムで競いました。

他施設からの参加もあり人前での実施であったため普段とはまた違う緊張感。タイムも評価基準になるので急がなくてはというあせりのなかで冷静にそして正確にということを中心に心がけました。実際の現場では予測のつかないなかで想像以上のあせり、緊張感、冷静に物事を考えられる状況にないかもしれません。普段からの消火栓の場所の把握や使用方法、非常口の確認など意識付けが必要であると感じました。

少し肌寒い秋空のもと私たちは練習した成果を思う存分発揮することができ結果は消火器の部、優勝。屋内消火栓設備の部、準優勝という成績をおさめることができました。賞をいただいたことに満足せず、大会を通じて学んだ知識、行動等を周知し適切な初期消火、人命の安全確保を率先して対応できるよう普段から心がけていこうと思います。



南の星座



アドリブ満載でも
息はびったり!
笑い元気の
ステージでした!



今年もやってきました、アクトカルおおすみ主催のチャリティーコンサートでの大舞台!

認知症のあれこれ「どんな病気?」「これも症状?」「どんなふうに対応したらいい?」を、楽しく学んでいただけるよう、笑いあり涙ありのラブコメディテイストでお送りしています。「劇団」とは言いますが、メンバーは認知症初期集中支援チームを中心に、南大隅町・錦江町の役場、社協、老健みなみかぜ、肝属郡医師会立病院に所属しており、なかなか全員で集合することもできません。寸劇では、日頃のチームワークと連携を活かし、天性の芸人たちによるアドリブ満載の行き当たりばったり(でも息ぴったり)な仕上がりとなりました。これからも『認知症になっても住みやすい街づくり』に向けて、皆さんに笑いと元気をお届けします!

肝属郡医師会・ 南隅地区医師会施設 合同忘年会

平成29年12月15日(金)



1年の総まとめのお言葉をいただきました



練習の甲斐あって大盛り上がり!!



合同忘年会で交流も兼ねて

平成29年12月15日(金)「肝属郡医師会・南隅地区医師会施設合同忘年会」が鹿屋市内のホテルで行われました。

来賓はじめ多数の参加があり、華やかで楽しい宴となりました。恒例の余興では、4階病棟、外来・オペ室の合同チーム、みなみかぜの3組が忙しい業務の合間をぬって練習した成果を発揮され、会場を大いに盛り上げてくれました。皆それぞれ、一年の疲れを少しでも癒すことができたのではないのでしょうか。

最後に、イベント委員はじめ準備に携わった方々、本当にお疲れ様でした。

平成29年10月より

『骨密度測定装置』が新しくなりました!



01

『骨粗しょう症』と『骨密度測定』について

現在、日本人の10人に1人が骨粗しょう症といわれています。

骨粗しょう症は骨がもろくなっている状態で骨折が生じやすくなる疾患です。この骨粗しょう症の診断に用いられるのが骨密度測定です。骨密度は骨を構成しているカルシウムなどのミネラル類が骨にどのくらい詰まっているかを表すもので、骨の強さを示す指標であり、当院ではX線を使って、この骨密度を測定しています。

【正常な骨】



【骨粗しょう症】



02

従来の測定装置と変わった点は?

従来は椅子に座った状態で前腕骨(手首に近い腕の骨)にて測定をしていましたが、新しい装置では、寝た状態で腰椎(腰の骨)と大腿骨(太ももの付け根の部分)の2カ所を測定します。特に腰椎は他の骨と比べ急激な骨の変化を捕捉しやすいので骨折を予知する対象としては最適な骨といわれています。



骨折しやすい部位は他にもありますが、この2カ所を骨折すると寝たきりの要因となってしまいます。

03

どうすれば検査できる?

まずはかかりつけ医にご相談ください。人間ドックのオプション検査に含まれているので合わせて申し込むこともできます。



従来の装置



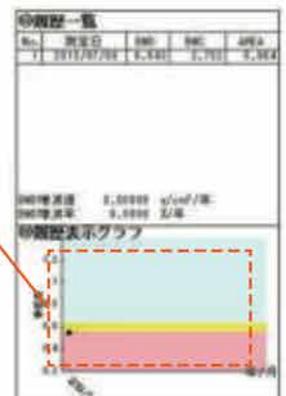
新しい装置

04

最後に...

骨密度は思春期から20歳にかけて最大となり、40歳頃までその値が保たれ、その後減少していきます。骨粗しょう症と診断された人は食事や運動療法、場合によっては骨を強くするお薬などによる薬物療法を始め、骨粗しょう症と診断されなかった人も定期的に検査することで早期発見・早期治療につながるようになります。みなさんも一度検査を受けて自分の骨密度を調べてみませんか?

測定履歴も表示できますので前回の結果と比較もできます。



施設内 研究発表会



10月13日(金)施設内研究発表会が行われました。今年度は新たな試みとして発表するグループを二つに分けて6グループの発表となりました。療養音楽では、音楽を活用してリラックス効果、残存機能向上の視点から「音楽で楽しい時間を」・接遇では利用者様の良い所発見から利用者様への職員の関わりの変化・排泄はおむつの当て方の知識、技術向上・デイは転倒、転落発生リスク回避・居宅、リハビリは事例を通しての学びについて発表され、6グループそれぞれが、利用者様への「安心安全の提供」及び「質の高いサービス」を目標とし、グループの特徴や日々の業務の中での疑問や解決したい課題、気づきについて取り組みされた成果発表となりました。

成果の実感が得られた発表、疑問が残った発表もありましたが、取り組む過程で職員一人一人が多くの気づきができたことと思います。今回の研究も踏まえ、日常業務での活動につなげることで、「利用者様へのサービス向上・ご家族様への安心」が提供できる、しつづける施設を目指せるのだと感じました。



防火訓練



11月17日(金)にみなみかぜにおいて防火訓練が行われました。夜間を想定した訓練で、消防署職員の立会いのもと火災警報の合図で行われました。夜間の訓練ということもあり職員四名と病院からの応援をあわせて十名程で入所者様を車椅子へ移乗し、独歩の方は誘導して、74名(ダミー含む)を避難させました。

今回は訓練でしたが本当に火災が起こってしまったら訓練のように動けるのかと不安も感じました。「火災」はとても怖いのです。一瞬にして生命や財産を焼き尽くしてしまいます。

日頃から「火の用心」をし、火災を出さないという心構えが大切だと感じました。

みなみかぜ大運動会



11月1日(水)に19回目となる、みなみかぜ大運動会を開催いたしました。利用者様と職員はそれぞれ紅組と白組に分かれて利用者様は日頃のリハビリの成果を、職員は練習の成果を競技や応援合戦に力を発揮して一生懸命に取り組みました。競技は、玉入れ、ボール渡し、車椅子リレー、ゲートボール等、利用者様と職員だけでなく御家族の方と一緒に一丸となって取り組みました。

職員による応援合戦では二つのチームに分かれ、魚男達のかんぱちダンスと奇麗なお姉さん方とキレのあるヲタ芸を踊るイケメン達による恋ダンスを披露しました。少ない練習時間の中で当日を迎えたのですが、本番ではダンスを決めて見事成功させる事ができました。その後、閉会式を行い今年の運動会を無事終える事ができました。本当にありがとうございました。

外来受診に関するお知らせ

完全紹介予約制

当院の外来は「完全紹介予約制」となっております。初診の方は、他の医療機関(かかりつけ医)などからの紹介状が必要となります。また受診の際は、事前に予約をお取りください。

※泌尿器科、整形外科、眼科は「かかりつけ医」がない場合は予約のみで受診できます。

予約に関する電話受付時間

月～金曜日 午後2時～5時

土曜日 午前9時～12時

当院の障害者施設等一般病棟について

当院には重度の肢体不自由者、重度の障害をお持ちの方が安心して入院治療を受けることのできる病棟がございます。看護師が厚く配されており、医療行為が多く必要な場合に適しております。

対象者

- ①重度の肢体不自由者
- ②重度の意識障害者
- ③髄損傷等の重度の障害者
- ④筋ジストロフィー
- ⑤神経難病患者

状態

気管切開、人工呼吸器管理、酸素投与、頻回な吸引等の医療処置を要する状態

入院の相談について

障害者施設等一般病棟への入院相談は当院地域医療室 医療相談係までご連絡ください。

職員募集

常勤医師【募集診療科】

内科(一般、呼吸器、循環器、消化器、リハビリ)・外科・整形外科・眼科

看護師/准看護師/看護補助者(正職員・パート)

介護福祉士(正職員・パート)/栄養士(正職員・臨時)

調理師(正職員・パート)/調理員(契約・パート)

栄養室事務(契約)/薬剤師/リハビリ助手(契約・パート)

臨床工学技士/診療情報管理士

医師事務作業補助者/ドック担当事務

詳細については総務課庶務係までご連絡ください

TEL.0994-22-3111
(内線:1134)

病院稼働状況

	11月	4月～11月	月平均
外来患者延数	2,681	21,781	2,722
(1日平均)	89.4	89.3	—
新入院患者数	85	642	80
退院患者数	79	641	80
月末在院患者数	167	1,288	161
在院患者延数	4,869	39,292	4,911
(1日平均)	162.3	161.0	—
平均在院日数(一般病棟)	17	16.3	—

(単位/名)

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年とはどのような1年だったでしょうか。明るい話題も多かったですが、2017年の世相を1字で表した「今年の漢字」では、核実験やロケット発射問題を反映したのか「北」が選ばれました。今年は、平昌オリンピックが開催されます。日本人選手の活躍により多くの感動やメダルを獲得できればと思います。

本年も多くの出来事を編集委員一丸となって「みどりの風」を通じてお伝えできるように頑張ってください。

皆様にとってより良い1年となりますように、ご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

シンボルマークについて



地域住民の皆様と地域の医療従事者を、平和と安寧の象徴である二羽の鳩で表し、共に協力しながら空高く飛翔するさまをデザイン。肝属郡医師会立病院の頭文字をエンドレスイメージでデザインしたKマークは、地域医療の中核病院として地域医療を支え健やかで暮らしやすい地域づくりを目指して永遠に伸びゆくさまを表しています。